

## 第13期 第17回 鳥取市校区審議会 議事録

- 1 日 時 平成30年6月26日（火）14時 ～ 16時
- 2 会 場 鳥取市教育センター 2階 第1研修室
- 3 出席者 **【委員】**  
本名俊正委員（会長）、野口淑文委員（副会長）、渡辺勘治郎委員、  
松ノ谷博委員、大村匡由委員、吉澤春樹委員、川口有美子委員、山田康子委員、  
牛尾柳一郎委員、田中弘之委員、森本早由里委員  
  
**【教育委員会（事務局：校区審議室）】**  
中村隆弘次長兼教育総務課長兼校区審議室長、石上直彦教育総務課校区審議室主査、  
大坪宗臣教育総務課校区審議室主任
- 4 会議次第
  - 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議事録署名委員の選任
  - 4 報 告
    - （1）第16回校区審議会審議概要について
    - （2）第13期鳥取市校区審議会答申について
    - （3）校区審議に関連する活動報告
  - 5 議 事
    - （1）次期校区審議会への申し送り事項について
  - 6 その他
  - 7 閉 会

## 5 議事の概要

### 事務局

ただいまより、第17回鳥取市校区審議会を開会させていただきます。

なお、本日は、長谷川委員よりご欠席の連絡をいただいております。また、吉澤委員が、30分程度遅れて出席されるとのご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

前回の第16回校区審議会では、江山校区の学校のあり方について、答申案をご審議いただき、文言の若干の修正を加えて、5月31日に会長より教育委員会へお届けいただきました。その節はありがとうございました。そして、6月29日に開催される教育委員会において、ご審議いただくこととしております。

本日は、「次期校区審議会への申し送り事項」を議題としております。前回ご議論いただいた、「千代川以西エリアの学校のあり方」、「次期校区審議会への申し送り事項」についての内容を踏まえ、委員の皆様事前に（案）をお送りし、修正をお願いいたしました。今回は、修正を反映させたものをお配りしておりますが、その内容についてご審議をお願いしたいと思います。

それでは、会長よりご挨拶をいただき、以降の会の進行をお願いします。

## 会長

皆さんこんにちは。先日、大阪で地震があり、子どもがブロック塀の下敷きになるという出来事が起こりました。危険がどこにあるのかわからないということですが、鳥取市の教育委員会も早速、調査に入っておられるようですし、様々なところで子どもが安全に学校に通うということ、親として、大人としてとても注視していかないといけないと思います。

この校区審議会も丸2年を迎えます。ちょうど任期が、明日までとなっております。これまで17回の会議を開催させていただきました。場合によっては、各地区に出かけ、現場を見ていただきました。この審議会の議題によらず、委員の皆様におかれては、色々なところで、どうしたらいい校区で子どもたちに安全に、魅力ある学校づくりができるのかということ、毎日考えていただいていたことと思います。なかなか思うようにいかない部分もありますが、この2年間で進んだこともございますが、本日、次期の校区審議会への申し送り事項についてご審議いただき、今回解決できなかった課題につきましては、次期の審議会に期待したいと思っています。本日もご審議、どうぞよろしくお願い致します。

それでは、議事録署名委員を選出したいと思います。名簿順により、牛尾委員、森本委員、よろしくをお願いします。

はじめに、報告事項に入りますが、3点ございます。まとめて事務局よりご説明いただきたいと思います。

## 事務局

[資料説明]

## 会長

3点ご報告いただきましたが、ご質問等はございませんでしょうか。

私の方から、1つお伺いしたいと思います。宝木小学校区の考える会が始まるということになりますと、浜村小校区だけが考える会が立ち上がっていないということになるのでしょうか。逢坂からは要望書が出ていますし、瑞穂は立ち上がっていますし、このたび宝木で立ち上がるということです。浜村小校区は、いちばん児童数が多いですが、特に検討する必要はないという感じなのか、これから立ち上がる方向なのか、いかがでしょうか。

## 事務局

浜村小学校区でも、立ち上げの方向に進んでいこうということで伺っております。

## 会長

逢坂の方は要望書が出てかなり経過していますので、他の学校区の議論を知りたいと思っていますが、そのあたりの情報は逢坂には伝わっているのでしょうか。

## 事務局

直接、校区審議室にはお問い合わせはないのですが、気高町分室が逢坂の教育を考える会の事務局をしておりまして、他の3地区の立ち上げの状況等は報告をして、何とか3地区で立ち上げてい

ただいで議論を進めてほしいというような声を届けられているということを知っています。

#### 委員

今、浜村の話を知って、西郷小に考える会が立ちあがるのであれば、相手方になる他の小学校でも準備をしていかないといけないことになりますか。

#### 事務局

西郷地区には、校区審議会の「中間まとめ」をもとに、課題があるので立ち上げてくださいという説明を知ったのですが、散岐小や河原第一小は早急に検討が必要な学校ではありませんので、現段階ではお話ししていません。

#### 会長

西郷小学校が、もし統合等になるといったときに、その時は河原第一小が対象になるということですか。

#### 事務局

そうなった場合には、江山中校区や気高中校区と同様に、河原第一小だけでなく散岐小も含めた河原中校区全体で考えていただくということになるかと思います。

#### 会長

児童数減少のスピードが速いので、ある程度早めに対応していかないといけないのではないかとこの感じがしています。どうするかということは別として、考える会というのはそれぞれの学校区で立ち上げていくことが大事だと思います。そのあたりは、事務局で色々と進めていただきたいと思います。

#### 委員

宝木小校区の準備会の事務局をしているのは分室ですか。

#### 事務局

準備会に参加される方の案内文書の送付や資料の作成を分室でされましたし、会の進行も行われました。設置要綱案の中にも、事務局は分室に置くという形で前回決定されましたし、今後は分室が事務局として庶務を担当されることとなります。

#### 委員

気高は、おそらく各小学校区において温度差があると思います。

#### 会長

まずは、4小学校区で会を立ち上げていただいて、それぞれがそれぞれの結論で終わるのではなく、

全体として集まっていたいただいて気高町内全体でも将来を考えていただく機会も必要だと思えます。

報告事項については、他によろしいでしょうか。

それでは、議事に入りたいと思えます。次期校区審議会への申し送り事項について、事務局より説明をお願いしたいと思えます。

## 事務局

[資料説明]

## 会長

本日はこの案をご覧くださいながら、修正をかけてまとめていきたいと思えます。

8ページから9ページにかけての前書きと審議経過のまとめについてはいかがでしょうか。ひとつおとり前もって、委員の皆さんにはご確認をいただいておりますが、赤字が修正をした項目になります。他に項目を付け加える必要がある点などはございませんでしょうか。

よろしいようでしたら、10ページを見ていきたいと思えます。まず、「(1)基本方針について」ですが、このようにまとめさせていただきましたが、いかがでしょうか。

## 事務局

一つ、よろしいでしょうか。本日、ご欠席の委員から、確認ということで次のようなご質問がありました。「しかしながら・・・」以下の文章ですが、3つ「 」がありますが、これは全て「対象校区住民全体の意向を把握しながら、審議を進めていくことも一つの方法であるとする。」という文章に係るのか、ということでした。特に、最初の2つの「児童生徒の通学面での負担がある」と「児童数増加に伴う教室不足が懸念される」というのは、住民の意見を把握する必要があるのだろうかというご質問でした。特に、教室増加によって施設を増築するとかいった時は待ったなしではないのかというご質問でしたが、事務局としてこれを入れた理由としては、南中の時に増築をするのか分離新設をするのかといった時に、住民の意向も尋ねた方がいいのではないのかといったこともあったので、このようにしましたが、委員の皆さんでご確認いただければと思えます。

## 会長

3つの「 」とも、住民の意向を把握するという意味での文章ということによろしいですね。

## 事務局

そのようにご説明して、〇〇委員にはご理解をいただきました。

## 会長

場合によっては、待ったなしのこともあって、仮設校舎を建てざるを得ないということも現実としてはあるわけですので、そういう時には行政として進めざるを得ないということもあると思えます。住民としては、正規に増築してほしいということもあると思えますが、臨時的措置として仮設校舎ということもあり得ると思えます。そういうことも含めて、住民のご意見も伺いますが、判断は審議会としてしますということですね。

## 委員

「地域住民の総意をまとめることが難しい」というのは、地域がまとめる、あるいは校区審議会がまとめるとも取れます。地域がまとめるのが難しいという意味であれば、「地域住民の総意がまとめることが難しい」という考え方もあるかと思います。

## 会長

この文章で特段に誤解がなければ、3つの場合とも地域住民の意向を把握しながら審議会としては進めていくという捉え方でよろしいでしょうか。あるいは、もう少し誤解のないように文章を変えるかということですが、いかがでしょうか。なるべく住民の意見が反映できればいいわけですが、意見は意見としてお聞きしますが、審議会としてはそれに乗るだけではないわけですし、最後の文章の「対象校区住民全体の意向を把握しながら審議する」というまとめ方でよろしいのではないのでしょうか。

## 委員

私はあまり疑問に思わなかったのです。地域住民の総意をまとめるのが難しいエリアは、住民の意向は色々あることを承知の上で、校区審議会としては異なる方向性を出すかもしれないということがわかりますので、それで良いと思います。

## 会長

まとまっていれば問題ないのですが、まとまっておらず色々な意見が乱立している場合には、審議会としては、そのご意見はいただきながら判断しますということになりますので、申し送り事項としては適切な内容だと思えますがよろしいでしょうか。〇〇委員の質問についても、これで問題はないと思います。

それでは、「(2)の千代川以西エリアについて」を見ていきます。前回は、アンケートの内容についてもご審議いただきました。ここにもありますように、未就学児の保護者も入れた方がいい、あるいは小中学校の保護者だけでいいのではないかというご意見もありましたが、全体としては地域全体の意見を伺った方がいいという意見が多かったと思います。ここには明確に書いていないのですが、そういったことも含めて次期校区審議会で検討していただきたいと思います。そして、橋や通学路の問題があります。また、城北小学校の児童数増加による教室不足の問題がありますが、土地がなかなか見つからないということがありますので、どこかで校区の再編を含めて、結論を遠くないうちに出していかないといけないのではないかと思います。

そのようなところでいかがでしょうか。

## 委員

載せるべきかどうか迷っているところですが、城北小学校の児童数が増えているということもありますが、仮に世紀小学校に一部の児童が移った場合に、世紀小学校の教室数が不足するということがあったと思うので、そのことを載せた方がいいのではないかと思います。ただ、載せる場合には、「仮に」ということをしっかり出しておかないと、世紀小に移るといような結果ありきのように捉えられてはいけないと思います。一部が世紀小学校に移った場合にも、増築や改築も必ず出てくる問題で、

すぐに対応ができないということも申し送りに入れておいた方がいいのではないかと思います。

## 会長

それが前提になってしまうというニュアンスが出てくるということもありますが、いかがでしょうか。

## 委員

そういう意味では、載せない方がいいのかもしれませんが、申し送りとしてはそれを考慮しながら進めないといけない問題であると思います。

## 会長

確かに、校区を再編するということになる、世紀小か大正小や場合によっては賀露小も入ってくるかもしれません。具体的にそのような小学校の名称を入れるとなると、「仮に」という表現をしても表に出るものですから、保護者にとってセンセーショナルになってしまうと思います。次期の校区審議会でそのあたりを十分に詰めていただいた方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

## 委員

前回の審議会で申し上げれば良かったのですが、ここが問題の理由というのは、児童数増加や安全というのも最優先課題だと我々は思っているのですが、実はもう一つに、自治会の組織の問題があります。城北小校区、北中校区でありたいという方が、なぜ反対されるかということ、校区にこだわりがあるからだと思います。そこで自治会の問題も巻き込んでいかないといけません、校区審議会としてはそのようなことはできないと思います。そこがネックになっていると思います。校区審議会のメンバーが変わっても、自治会の問題がクリアされていないときっと変わらないと思います。したがって、現時点でそのような小学校名称は書けないと思います。

## 会長

こちらとしては、審議事項だということであっても、名称などが出るとそれが決定事項のような形で捉えられることもあるかと思うと少し心配な部分があります。しっかりと検討して、名称を出していくということがいいのではないかと思います。したがって、申し送り事項としては、現在の形とした方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

## 委員

例えば、「隣接校区の状況も把握しながら」というような表現を入れておいたらどうかと思います。

## 委員

「隣接校区の実態を踏まえ」というような表現を入れていけばいいのではないのでしょうか。

また、アンケートの実施主体は校区審議会でしょうか。

## 事務局

校区審議会が実施するということになると思います。

## 会長

今のご意見を踏まえると、「千代川以西エリアは、広範囲で歴史的な背景もあるので、アンケート調査等の方法を用いるとともに、隣接校区の実情を踏まえ、地域全体の意向を把握できるように工夫する必要がある。」というような表現になるかと思いますが、いかがでしょうか。

## 事務局

ここの部分は「千代川以西エリアについて」という項目ですので、ここで指す地域は千代川以西になるかと思います。ここで隣接校区という言葉を用いますと、城北小学校とその隣接する世紀小学校や大正小学校ということになってくるとと思います。そこをあえて文章にして入れるべきかどうか気になることころではあります。

## 会長

そこをあえて入れるというご意見があり、学校名までは入れなくても、隣接校区というのを入れてはどうかということになっているところです。

## 委員

審議の際に、説明される方がいればこのままでもいいと思います。

## 副会長

ちなみに、第12期から第13期に申し送られたときは、どのようになっていますか。

## 事務局

第12期には、最後の審議会の際に、千代川以西エリアについては申し送り事項とは別に、中間答申という形でいただきました。申し送り事項には、中間答申をしたということだけが書かれています。印刷してまいりますので、それをご確認いただきたいと思います。

## 会長

その間に、少し休憩をしたいと思います。

[休憩]

## 会長

第12期の中間答申の中で、安全性の問題、歴史的な背景があるということで、この審議会だけで解決できるのかということがあります。また、高草中や世紀小に通学される場合のことが書かれていますが、線路を越えるということがあります。

## 委員

地下道のようなところをくぐる道もあるのですが、跨線橋の歩道を渡って通学しているところもあります。

## 会長

それでは、3番目の丸の部分に戻りますが、どのようにまとめましょうか。このままの文章とするか、隣接校区を入れた先ほどの文章にするか、いかがでしょうか。

## 委員

先ほど、事務局よりここの地域というのは、千代川以西ということですので、あえて隣接ということを入れなくてもいいのではないかと思います。私が、隣接と申したのは、城北小学校という言葉が一つ目の丸の部分で出ているので、その城北小学校に隣接した校区というのを入れた方がいいと思ったのですが、あくまでもここの文章全体の地域や、考慮するのが千代川以西エリア全体ということにするのであれば、あえて入れなくてもいいのではないかと思います。

## 会長

いかがでしょうか。色々と議論がありましたが、このままにするということでもよろしいでしょうか。ご提案もあり実情もよくわかりましたが、元の文章にしたいと思います。ありがとうございました。

それでは、「(3) 気高中学校エリアについて」を見ていきます。最初の報告にもありましたが、宝木小学校区でも準備会が開催され、立ち上がりそうだということでしたが、そういったこともこの文章から読み取れそうですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

続いて、「(4) その他エリアについて」も見ていきますが、こちらもこのままでよろしいでしょうか。

最後に、一覧表を見ていきたいと思います。何かお気づきの点はございませんでしょうか。早急な議論が必要な学校区ということで②～⑦が挙がっていますが、江山中学校エリアについては、前に進む形になりました。③の千代川以西エリアは、まだなかなか困難な状況があります。④の気高中学校エリアについては、少しずつ前に進むと思いますが、小学校区の間で多少の温度差がありますが、調整をされて方向性が出ればと思います。逢坂と瑞穂と宝木は、複式学級が発生してきていますので、解決を少し急がないといけないと思います。中心市街地エリアも近くにたくさん学校があつて、複雑な学校区になっていますが、マンションが一つ建つことで児童数が随分変わってくるというような状況で、なかなか読めない部分があります。ただ、それなりに課題はありますので、考えていく必要はあります。河原中学校エリアについても、それぞれの小学校区に考える会を立ち上げていただいて、前に進む方向になると思います。さらに、小規模小学校として、東郷小と明治小と佐治小がございいますが、いずれも児童数が減っていくと思います。小規模化を避けるというのはなかなか難しいのですが、特徴を出した教育を進めていただく、あるいは何らかの形で工夫や手立てをしていかないといけないと思います。おそらく10～15年後には、市内全体の小学校と中学校を含めてもう一度考え直す時期が来るような気がしますが、今できることを一步一步改善していきたいと思います。

全体としてはよろしいでしょうか。



## 委員

一つ質問です。河原中学校エリアで、西郷小が小規模ということで、散岐小と河原第一小も挙がっていますが、小規模小学校の佐治小のところには近隣の用瀬小や千代南中は挙がらないのでしょうか。

## 事務局

第13期においては、課題のエリアをこのような形で決めていただきましたので、第14期に入るにあたって、エリアの括りも千代南中や用瀬小も含めて考えていただく必要もあるかと思っています。

## 会長

〇〇委員さん、よろしいでしょうか。次期はそのあたりの課題もありますので、議論していただくということにさせていただきたいと思います。

## 委員

第13期での答申の有無の欄は、江山中学校エリアについてしか記載されていませんが、例えば、徳尾・古海地内分譲宅地造成工事に伴うエリアについても方向性を出したので、千代川以西エリアの部分に入れてはどうでしょうか。それから、検討しているものについては、「審議中」と入れるなどしてはいかがでしょうか。また、第13期で審議されたかどうか、わかるようにした方がいいと思います。

## 委員

そのあたりは、本文の「審議経過のまとめ」で説明がありますので、そちらで確認ができるのではないかと思います。

## 会長

事務局としては、いかがでしょうか。「答申の有無」としてまとめた方がよろしいですか。

## 事務局

特にそのあたりについて、どうした方がいいということはありません。

## 事務局

例えば、答申のあった「江山中学校エリア」を削除するとともに、「答申の有無」も削除して、課題のあるエリアのみを残すという方法もあるのではないかと思います。

## 会長

課題のエリアのみを申し送るということですね。そのようにさせていただきますでしょうか。そして、審議経過については、文章にしてありますので、そちらを参照していただくことにしたいと思います。〇〇委員さん、そのような形でよろしいでしょうか。

## 委員

結構です。

## 会長

それでは、これまでのご意見をまとめた形で、申し送り事項にさせていただきたいと思います。議事は、以上で終了したいと思いますが、委員の皆さんで他にございませんか。

最後にご挨拶を申し上げます。第13期、丸2年間、ほぼ1ヶ月に1回に近い形で審議をしていただきました。私もこの校区審議会は初めてで、大変ご迷惑をおかけしたこともあるかもしれませんが、少しでも子どもたちの安全や、学校自体の教育レベルを上げるということで、検討をさせていただく中で、勉強もさせていただきました。委員の皆さんにおかれましても、それぞれお仕事をお持ちになりながらも、開催回数も多く、審議時間も4時間を超える時もあり、ご協力いただき本当にありがとうございました。13期はこれで終わりますが、引き続き委員をお願いされる方もおられるかと思えます。また、今回限りの方もいらっしゃるかもしれませんが、どこかで鳥取市の子どもたちのために、鳥取に限らず全国の子どもたちの先駆けになるような良い教育が実現できる学校区ができればいいと思っています。特に、これから日本の人口構造が劇的に変わってきますので、今までとは違う新たな考え方が必要であると思えます。どこかで、また皆さんとお会いしながら、いい未来を考えていきたいと思えます。子どもたちは便利な社会になればなるほど、幸せであるとともに、何かを失っていくのではないかという気がしています。やはり、汗をかいて皆と一緒に遊んで学ぶということが本当に大事で、そういう機会をなくさないような工夫が必要であると考えます。本当に、長い間ありがとうございました。

## 事務局

私は4月の異動でまいりましたが、約3か月の間に3回の審議会を開いていただきました。委員の皆様には活発にご議論いただき、大変ありがたかったと思っております。江山中学校の答申はもとより、徳尾・古海地内の宅地造成地の校区のあり方についてご検討いただき、また、中間まとめを作成していただいたということも伺っております。

江山中学校区の学校のあり方については、6月29日の定例の教育委員会で、おそらく方向性が決定されると思っております。委員の皆様におかれましては、今後の動きについて注目していただけたらと思います。

また、今回ご審議いただいた申し送り事項についても、教育委員会にしっかりとお伝えをさせていただきます。次の審議会が円滑にいくように事務局としても準備をしていきたいと思っております。

あらためまして、委員の皆様におかれましては、本市の教育行政にご協力いただいたことを感謝いたしますとともに、今後ともご指導ご鞭撻いただきますようよろしくお願いいたします。

以上で、第13期校区審議会を終了します。ありがとうございました。

平成 年 月 日

会 長 本 名 俊 正

議事録署名委員

署名委員 牛 尾 柳一郎

署名委員 森 本 早由里